

# 生 活

## 令和5年度 授業改善のポイント

- (1) 体験活動と表現活動が豊かに行き来する単元を構想する。
- (2) 児童の思いや願いを生かした活動や体験を充実させ、熱中したり没頭したりできるように工夫する。
- (3) 学習を進める中で生まれてくる思いや願いを実現させる児童の姿を想定し、あらかじめ学習材や発問を準備し、学習活動に適切に取り入れる。
- (4) 児童の発言やしぐさを丁寧に見取り、尋ね返したり問い返したり共感したりするなどして、児童の気付きの質が高まるようにする。
- (5) 気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を適切に取り入れる。

### 気付きの質を高めるための多様な学習活動の充実

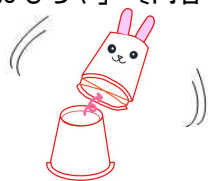
#### 【指導事例】

小学校第2学年 単元名「うごく うごく わたしのおもちゃ」〔内容(6)自然や物を使った遊び〕

小単元1：つくりたいおもちゃをきめよう

小単元2：うごくおもちゃをつくろう

小単元3：もっとよくうごくおもちゃにしよう



「ぴよんコップ」を高く跳ばしたいという思いや願いをもつ子どもがいると考えられる。高く跳ばすためには、輪ゴムの数や太さに着目する子どもがいると想定できるので、輪ゴムの種類や数を多く用意しよう。また、子どもの発言を想定してどのように問い返すか考えて準備しよう。

「ぴよんコップ」をもっと高く跳ばしたいな。どこを直したらいいのかな。



輪ゴムを強くしてみたらどうか。



輪ゴムを強くするとはどういうことですか。

輪ゴムの数を増やしたときに引っ張る力が強くなったことがあるよ。



気付きの



そうだね、輪ゴムの数を増やしてやってみよう。



輪ゴムを強くするというのは、輪ゴムの数を増やすことなのですね。では、友達のアドバイスを基に試してみましよう。

輪ゴムを3本に増やしたら紙コップがつぶれてしまったよ。



質の高まり



輪ゴムを1本減らして、2本にしてみたらどうか。

紙コップを重ねるとつぶれにくいよ。



ありがとう。どっちも試してみるよ。

次は、私の作っている「ころころん」にもアドバイスをしてね。



いいよ。任せて。



輪ゴムの数を変えたり、紙コップを重ねたりするなどのたくさんのアドバイスが出ましたね。試したり工夫したりして気付いたことをみんなに紹介しましょう。

資質・能力の育成

小単元4：あそび方をくふうしよう

#### ポイント(1)(2)

児童が活動や体験に熱中し没頭し、表現への意欲が高まるよう、単元を構想することが大切です。

#### ポイント(3)

児童が思いや願いを実現させようとする姿を想定し、必要な学習材を準備したり、どのように問い返したりするか事前に準備することが大切です。

#### ポイント(4)

児童が感じ取ったことを尋ね返したり問い掛けたり共感したりするなどの言葉掛けや働き掛けをして、気付きを全員で共有することが大切です。

#### ポイント(5)

具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に分析的に考えたり、創造的に考えたりする多様な学習活動を適切に行うことが大切です。

教師が行う単元構成や学習環境の設定、学習指導によって児童の気付きが高まることから、意図的・計画的・組織的な授業づくりをすることが求められます。

